

第75回塩竈みなと祭について

1. 開催日 令和4年7月17日(日)・18日(月・海の日)
2. 観客数 119,700名(前回(平成31年)比 4.7%増)
内訳) 花火大会 89,900名(前回比 5.4%増)
本 祭 29,800名(前回比 2.8%増)

3. 開催状況

(1) 前夜祭花火大会 7月17日(日) 20:00~20:50

塩釜港海上から、水中スターマインや創作花火など、コロナ前と同規模の約8,000発の花火が打ち上げられました。

マリングート周辺エリアをメイン会場に、西埠頭を観覧場所として開放しました。露店も多く立ち並び、沢山のお客様で賑わいました。

昼の時間帯は、巡視船「まつしま」の一般公開が行われ、花火打ち上げ前の会場を盛り上げました。

塩竈市魚市場では、2階デッキを観覧席として、市内で働く外国人技能実習生の方々約130名をご招待しました。

イオン屋上駐車場には有料棧敷席が設置され、300名以上のお客様で賑わいました。

濃霧の影響で、高い位置の花火が若干見えにくい状況でしたが、3年振りの花火大会は、コロナ前を上回る人出となりました。



(2) 本祭神輿渡御 7月18日(月・海の日) 10:30~19:00

志波彦神社・鹽竈神社の神輿が表坂をご同列で下りられ、市内をご巡幸されました。

その後、神輿を奉安した2隻の御座船「龍鳳丸」・「鳳凰丸」が、約80隻の供奉船を従え、西埠頭から御発船。御座船と供奉船団が、湾内を大きく1周半してから塩釜港を出港しました。

御発船後は、代ヶ崎浜を通過し、龍鳳丸は松島海岸と浦戸地区へ、鳳凰丸は花淵浜、新浜町をご巡幸されました。

お帰りは大勢の観客に見守られ、荘厳な雰囲気の中を塩釜甚句奉納とともに表坂を還御されました。



(3) 陸上パレード 7月18日(月・海の日) 13:00~17:40

よしこの塩竈踊りコンテスト(小中学校、一般)と、固定演技の部等も含めて全体で約2,300名、35団体が参加しました。

今年もオープニングセレモニーとしてベガルタチアリーダーズや、愛知県碧南市から「元気ッス!へきなん」の参加があったほか、西馬音内盆踊り愛好会「篝火」による盆踊りが披露されました。

第3部の高校生の皆さんによるダンスセレモニーの後、朱雀連の万灯神輿に導かれた神輿が表坂に到着し、パレードのフィナーレを迎えました。

<よしこの塩竈踊りコンテスト結果内容>

- 【一般の部】優勝:塩竈市役所連
準優勝:塩釜芸妓千賀乃屋 第3位:塩釜市芸術文化協会
- 【菅原利夫賞】青鬼連
- 【小中学校の部】順位付けなし

